

アオサナエ

Nihonogomphus viridis

兵庫県：要注目

環境省： —

種の概要

腹長37～43mm、後翅長29～38mm程度。未熟個体では胸部は黄色だが、成熟すると鮮やかな緑色となる。腹部は黒色で、背面と側面に緑黄色斑がある。丘陵地から低山地のヨシなどが繁茂した砂泥や砂礫底の河川中流域に生息する。成虫は4月～7月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、姫路市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、川西市、三田市、丹波篠山市、養父市、丹波市、朝来市、宍粟市、たつの市、猪名川町、多可町、市川町、福崎町、神河町、上郡町、佐用町、香美町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
	○				○

特記事項

Cランクから要注目種に変更
いずれの生息地でも、個体数はそれほど多くない種である。いまのところ各生息地に生き残っている。しかし細かい礫が堆積した川底に幼虫が生活しているので、今後河川の氾濫、浚渫、改修工事などの影響を受けやすい種であり、その生息基盤は今後とも安定しているとは言えない。

保護上の留意点